

琉球大学学術リポジトリ

眞岡案内

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 大きめの用紙1枚を折りたたんだタイプの要覧。地図含む。 。昭和二年 資料形態 : 大型資料 54cm×79cm キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38423

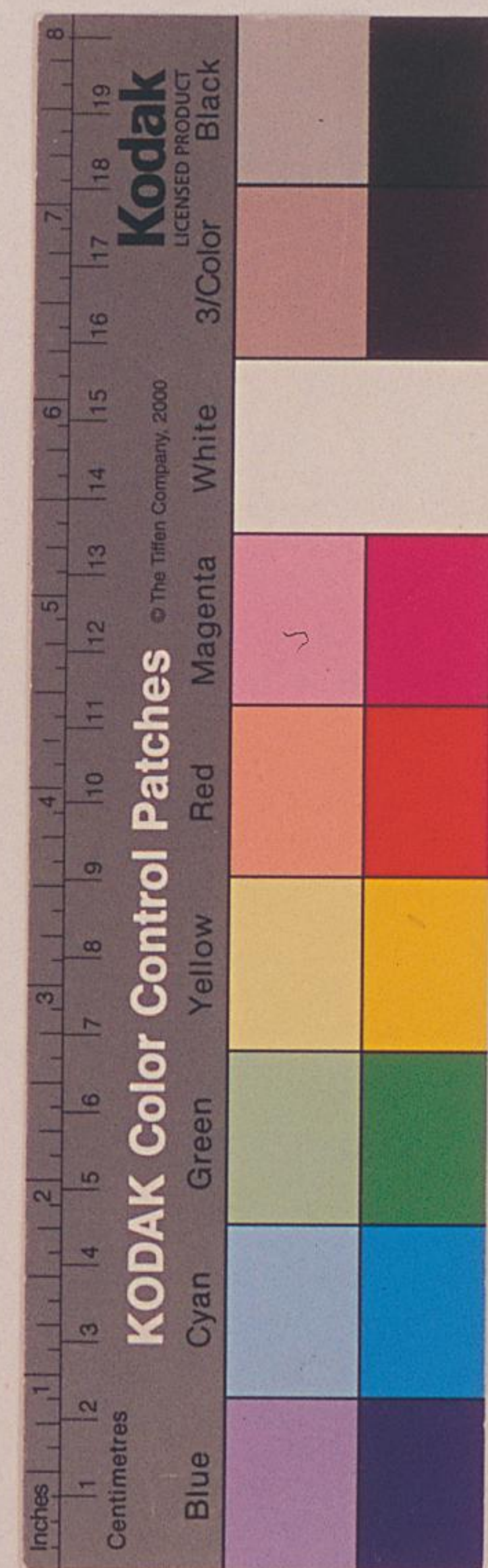
矢内原忠雄文庫

史料名	眞岡案内 昭和二年 * 地図含む
封筒番号	418
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 18 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：418

史料名	眞岡案内 昭和二年 *地図含む
資料形態	大型資料
枚数	1
页数	2
縦 (cm)	54
横 (cm)	79
厚さ (cm)	
書誌的事項	樺太 大きめの用紙1枚を折りたたんだタイプの要覧 今泉分類記号：P



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 8 1/14

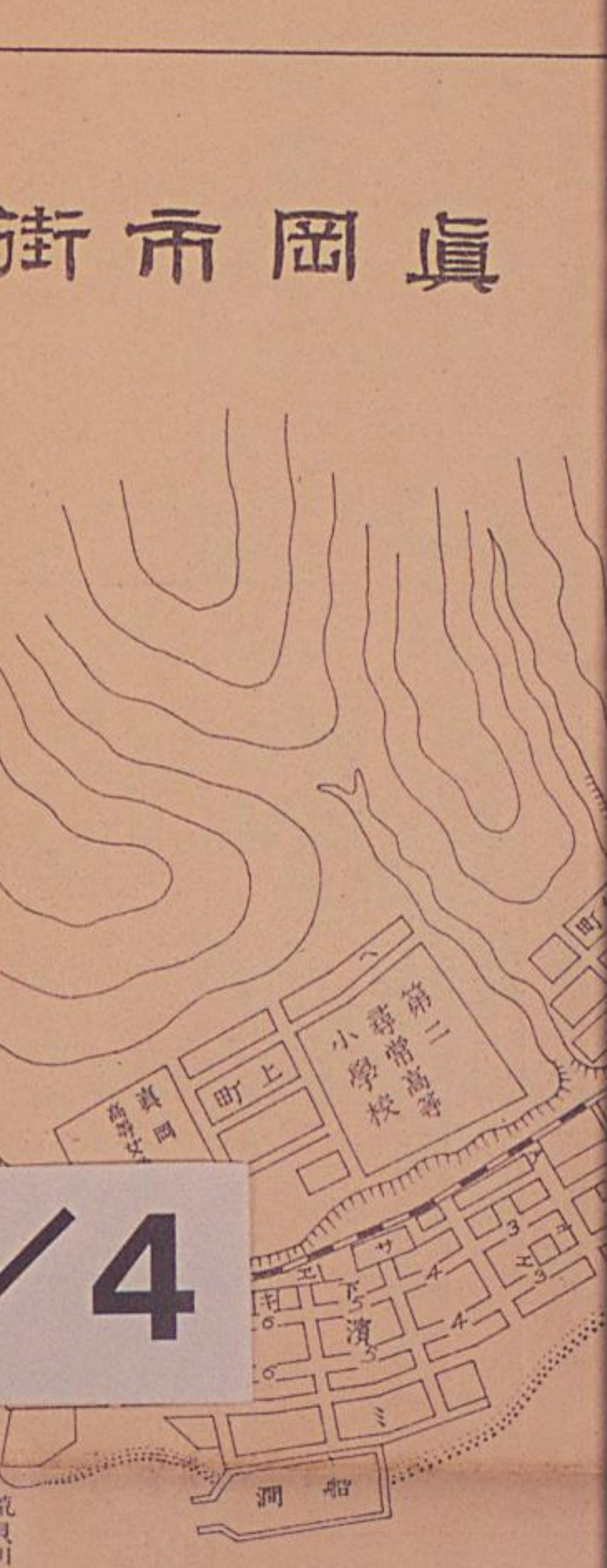
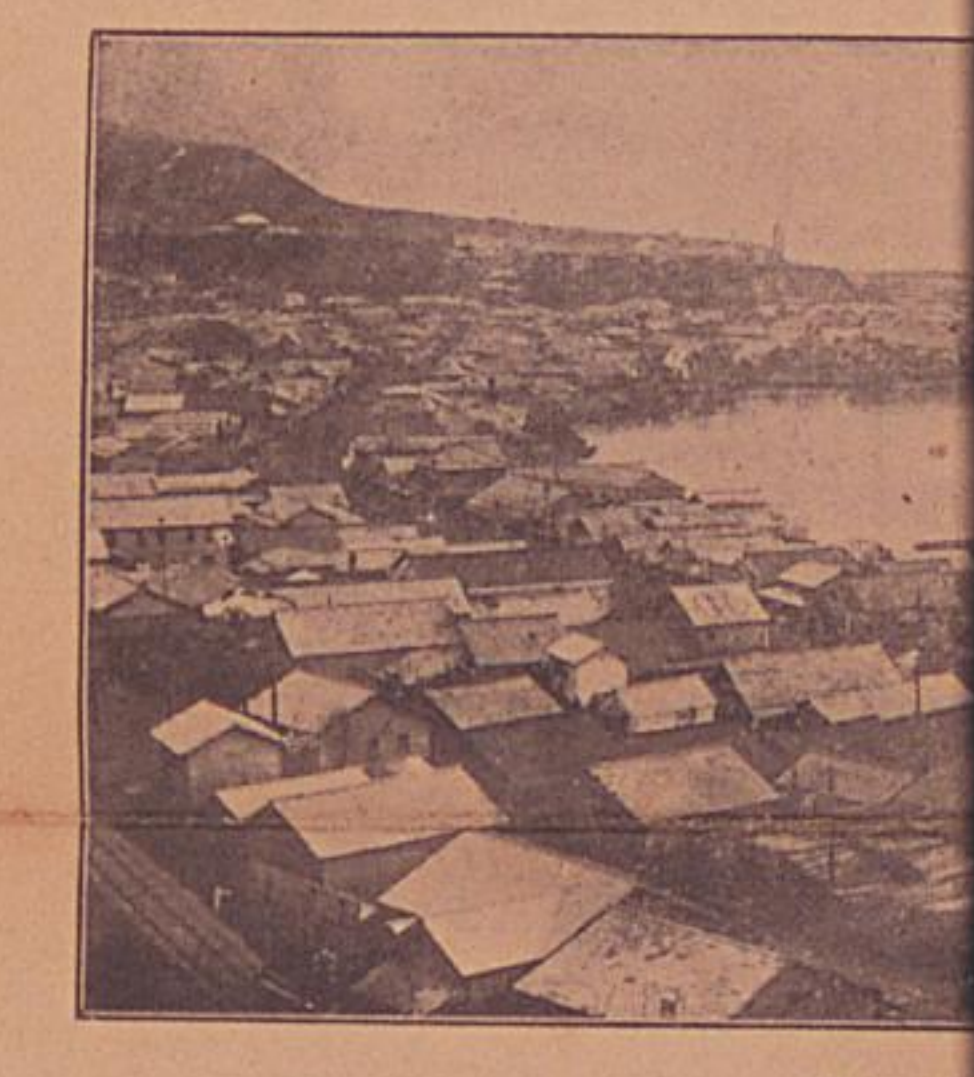
ノ中心市街ニシテ産物此處ニ集リ商業頗ル盛ナリ

景

七

五、林業

眞岡町ハ森林地帯ニアラザルヲ以テ何等木材ノ産出セザル、モノナシト雖モ該町支庁管内ハ全島有数ノ材積ヲ藏シ其ノ伐採量一ヶ年二百五方石ニシテ全島材積ノ四分一ヲ占メ向本半及泊岸兩支管内ノ材積ヲ合スルトハ四百二十方石全島材積ノ四割以上ニシテ是等ハ一部附近製材工場原料トナリ一部ハ種々工業株式會社及王子製紙株式會社ノ製材原料トナルノ外悉ク九州トシテ内地ニ移出セラレ、モノノシテ積取船ニヨリ搬出ナル、モノナリ、同町ニハ伐採ニ從事スル農夫ハ數千名ニ達シ該事業重要スル物資ハ該町ヨリ供給セラレ、其地ニシテアリ以テ眞岡町ハ事實ニ於テ經濟的ニ西海岸ニ支配シ得ヘキ地位ニアリ



眞岡市街圖

1/4

六、礦業

本島ニ於ケル礦業ハ主トシテ石灰石及全島獨石ノ埋藏セザル、モノ多量ナリト雖モ未ダ採掘工ナシ石灰石如キモノ未ダ大部分ハ國產上封鎖セラレ採掘不可ナルヲ以テ目下埋藏セザル、モノハ僅ニ小部分ニ過キ昭和元年ノ生産額二十七萬六千噸ニシテ島内一ヶ年ノ消費量三十七萬五千噸ナルヲ以テ約十萬噸ヲ島外ヨリ移入スルノ輸入セザル、ノ實況ナリ礦業ハ日下直接貿易トシテ比較的薄キハ漸次交通機關ノ發達ニ從テ起業ノ擴張ニ伴ヒ、經濟的ニ關係ヲ結ビ商工ノ發展ヲ見ルコト亦多クナリトス

ロ、島内交通ハ鐵道野田本年間六十哩アリ外ニ眞岡野原間四十八哩ハ大正十年起工シ一昨年ヨリ一部開通シ本年九月全通ヲ見ル豫定ナリハ、野田久保間四十六哩ハ大正十四年十一月起工シ一部ハ鐵路ノ設置ヲ了シ本年開通ノ期ハ沿岸各部路ノ開發ニ當リ所大ナルヘシ築港ハ大正十一年ヨリ二百五十方噸身更歩船塢式ニ築設シ面積一萬二千坪際寸十八尺ニシテ將來二千二百噸級ノ汽船ハ儘三岸壁ニ横付タスルコトヲ得ル引續キ第二期工事ヲ防波堤、延長海岸ノ埋立及ヒ調内調整等ハ町ニ於テ調査計測ヲ早ク早晩實現ヲ見ルニ至ルヘシ

七、農業

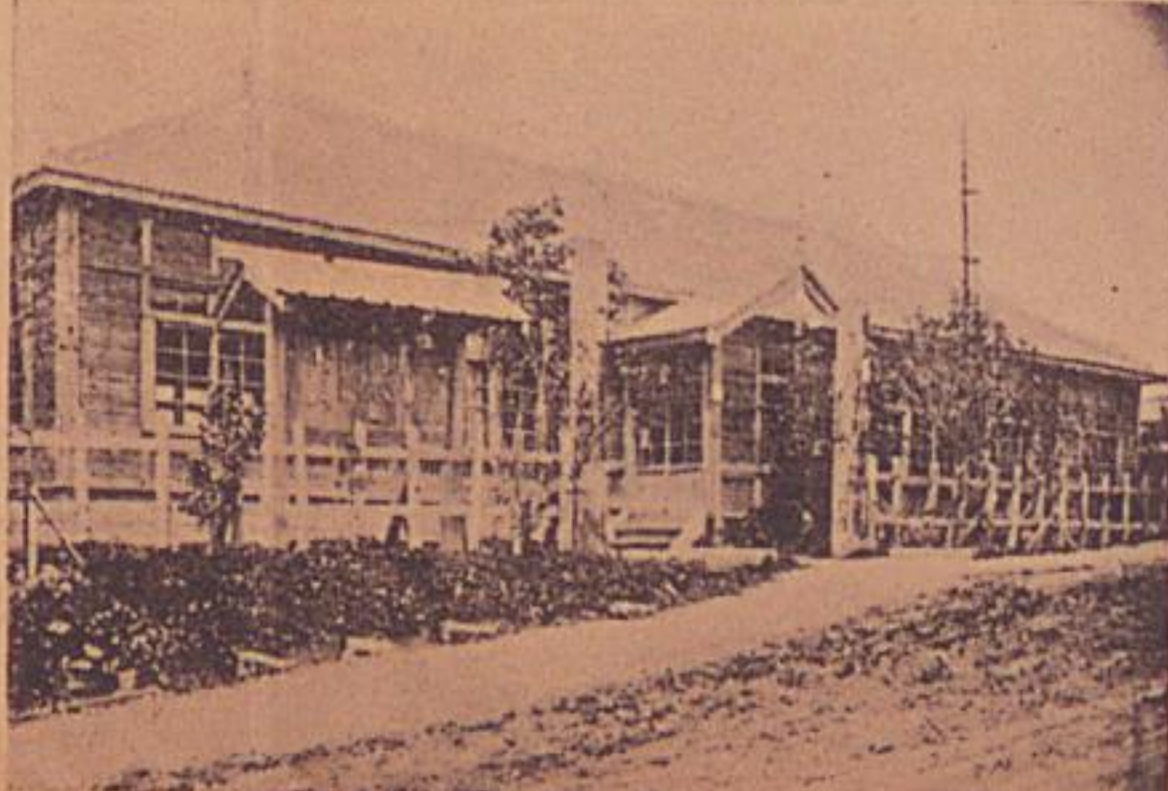
本島農産物ハ米及果實類ヲ除クノ外ハ低成育其好ニシテ麥類豆類馬鈴薯等ハ最も品質優ナリ一ヶ年ノ生産額七十三萬噸ニシテ本年管内三十六萬噸泊岸管内二十七萬噸ニシテ悉ク島内ニ消費セラル、雖モ向不足ニシテ輸入品多量ナリ本島ノ農業ハ元來有数ニシテ北海道ニ劣ル所ナリト雖モ從來種々ノ農業、開墾セラルタレバ麥類ニシテモアラズ之レヲ助成スルニ於テハ麥類麥豆類ノ自給自足ハ勿論農産製造工業及ヒ畜産業ノ發展ニシテモ大ナル功アルヘシ全島一ヶ年生産額二百六十四萬噸ナリ

八、製造工業

イ、製紙 資本金二千萬圓ノ種々工業株式會社經營ニ係ル工場ニシテ社長ハ大川平三郎氏ナリ一ヶ年ノ生産額四千萬圓ニシテ原料木材一ヶ年ノ消費額四十五萬石ナリ

ロ、繊維工場 蠶絲詰工場ノ原料蠶ハ沿岸各漁村ヨリ供給セラレモノニシテ本年野田泊岸其他數ヶ所ニ工場アリテ其製品ハ悉ク眞岡ニ集中ナレ主トシテ横濱ニ移出ナル、モノナリ其他夏期ニ於テ對馬縣ニ生産アリ

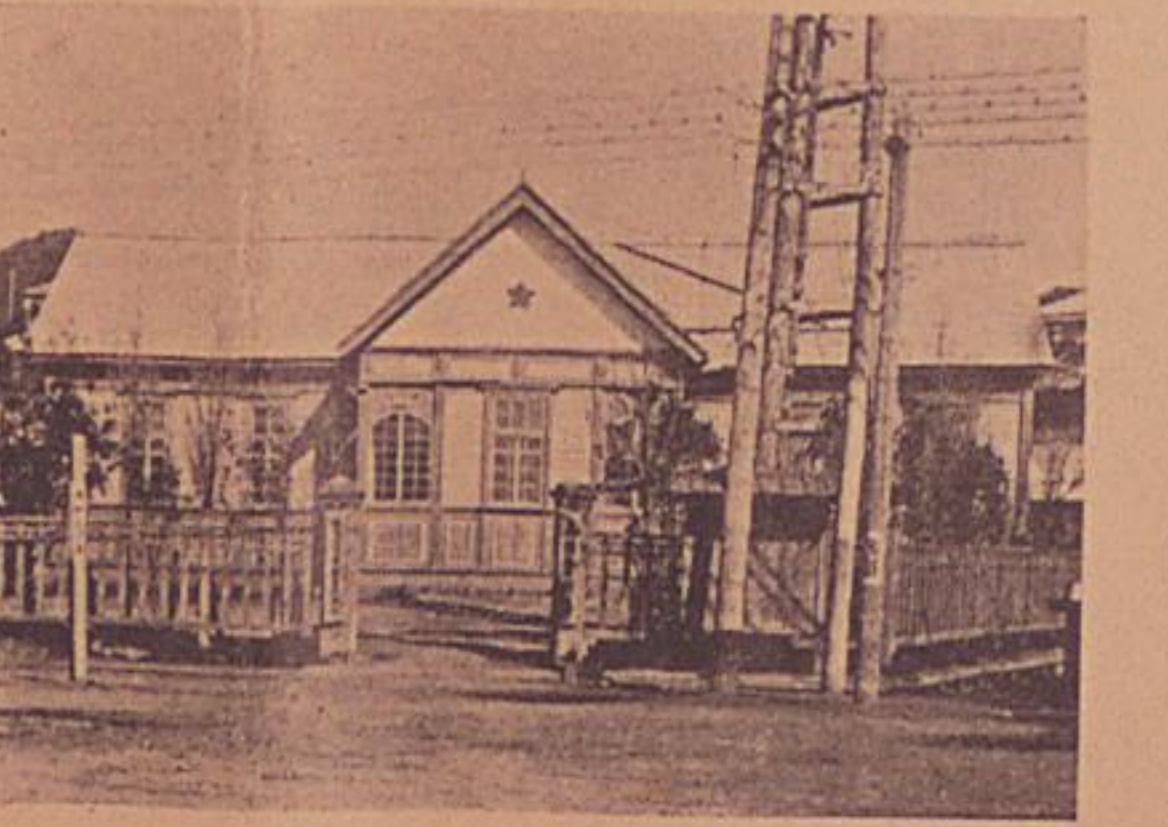
ハ、醸造業 清酒釀造ハ眞岡町十野田町二野ニシテ眞岡酒造組合ヲ組織セアリ一ヶ年釀造石數一萬石ニシテ悉ク島内ニ消費セラル、モノナリ味噌醬油 眞岡町内四ヶ所ニシテ其ノ製造高ハ醬油八百石味噌附二萬石ニシテ



眞岡製紙工場



眞岡町工務會所



眞岡町警署及郵便局

Scale 1/3,000,000



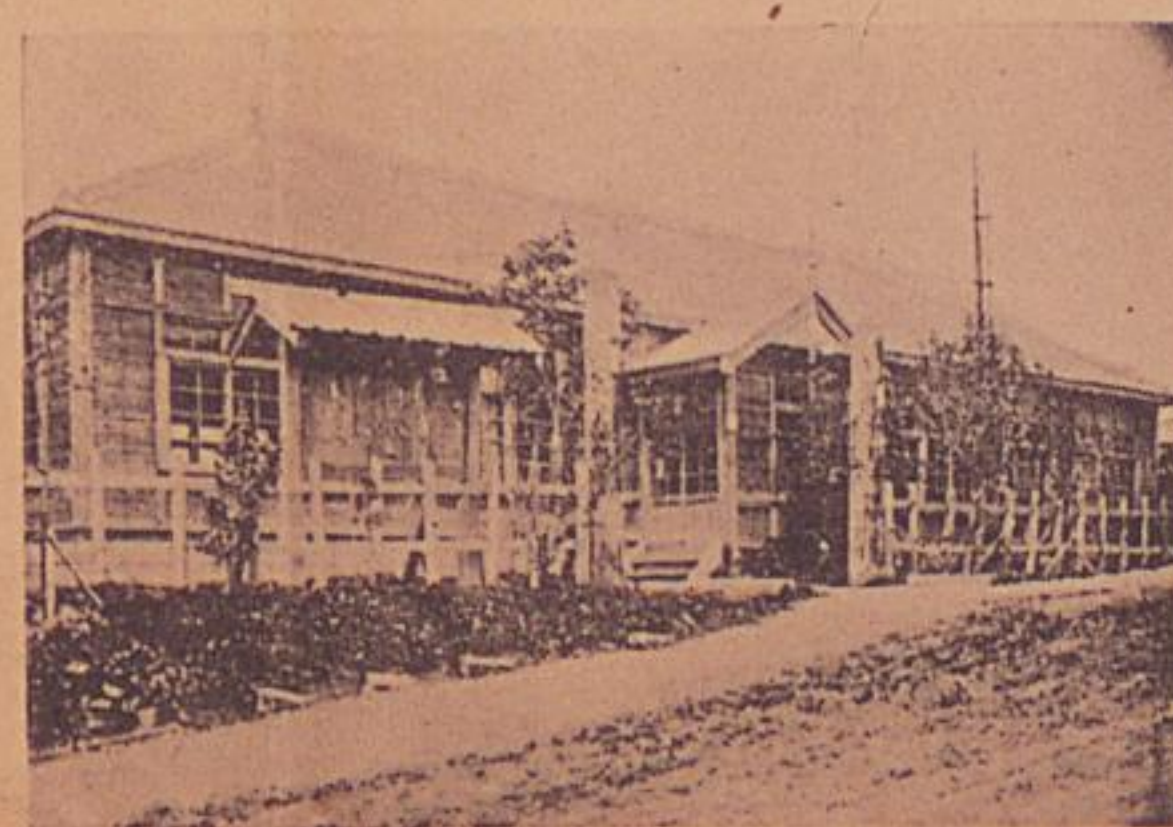
マイクロ写真撮影訂正票

訂正の理由	撮影操作誤りの為
訂正結果	直前の \ コマ取消 / \ コマ再撮影
訂正年月日	平成 17 年 11 月 18 日
このフィルムは上記の理由で取消、又は再撮影し訂正しました。	
撮影責任者	富士写真フイルム株式会社 桃園 芳朗



七、農 業
 本島産物ハ米果實類ヲ除ク外ハ大抵成育良好ニシテ麥類豆類馬鈴薯等ハ最モ品質優美ナリ一ヶ年ノ産額七十三萬圓ニシテ本年管内三十六萬圓居管内二十七萬圓ニシテ悉ク島内ニ消費セラルト雖モ尚不足ニシテ移入品多量ナリ本島ノ農業ハ元來有望ニシテ北海道ニ劣ル所ナシト雖モ從來樺太ノ農業ハ固シクモシテモアラス之レヲ助成スルニ於テハ麥類豆類自給自足ハ勿論農産製造工業及ヒ畜産業ノ發展ミルヘキモノアルヘシ全島一ヶ年産額二百六十萬圓ナリ

八、製造工業
 イ、製紙 資本金二千圓ノ樺太工業株式會社經營ニ係ル工場ニシテ社長ハ大川平三郎氏ナリ一ヶ年ノ生産額四千萬圓ニシテ原料木材一ヶ年ノ消費四十五萬石ナリ
 ロ、織造工場 釀造工場ノ原料類ハ沿岸各漁村ヨリ供給スルモノニシテ本年野田浦原其他數ヶ所三分工場アリテ其製品ハ悉ク眞同ニ集中シテトシテ横濱ニ移出スル、モノナリ其他夏期ニ於テ釀造工場ニ生産スル
 ハ、醸造業 清酒釀造ハ舊野田十野田町二百ニシテ眞同酒造組合ヲ組織シテ一ヶ年産額石數一萬石ニシテ悉ク島内ニ消費スル、モノナリ味噌醤油 釀造ハ町内四ヶ所ニシテ其ノ製法高ハ醬油八百石味噌二萬石ナリ
 ニ、清涼飲料水 製造工場町内二ヶ所ニシテ、ラムネ、サイダー、ソフト



農支同眞



所議會工商同眞・場役町同眞



局便郵及署察警同眞

至十年起工一四年一開通本年九月ニシテ全線完成ナリ
 ハ、野田久保間四十六哩ハ大正十四年十二月起工シ一部ハ線路ノ設置ヲ了シテ本年開通ノ途ハ沿岸各部落ノ開發ニ寄與スル所大ナルヘシ
 築橋ハ大正十一年ヨリ二百五十萬圓ニシテ通橋形式ニ築設シ面積一萬二千坪深サ十八尺ニシテ將來二十尺ニ擴張スルノ計畫アリ大正十五年八月深水ノ組二年完成ス千三百噸級ノ汽船ハ從ニ構築ニ構付ケスルコトヲ得向ニ引續キ第二期工事ヲシテ助成現ノ局長海路ノ埋立及ヒ濶内擴張等ハ可ニ於テ調査計劃セラレテ早晩實現ヲ見ルニ至ルヘシ

一、教 育
 教育機關トシテ小學校三、分教場一ノ施設アル外私立小學校、公立高等女學校、私立裁縫女學校、青年訓練所等ノ設ケテ普通教育上ノ施設ニ於テハ何等遺憾ノ點ナシ



1/4

一、位置及地勢

眞岡町ハ樺太西海岸南端ニシテ西臨鄂州南距約六十
北方三十七里二十八町樺太廳所在地原ヲ距西方十九里余即チ北緯四
十七度三東經百四十二度〇三ノ地點ニシテ西方南東ハ二衣帯水陸海峽
ヲ距テ、鄂州南端ト相對シ地勢一般ニ東方山脈ヨリ西ニ向テ傾斜シ起
伏多ク比較的平原ニ乏シシト雖モ手井、荒貝宇遠泊各川ノ流域ニ相繼ぎ
耕地ノ開拓アリ現在ノ眞岡町ハ明治廿八年本島領有後野人ノ建設ニ係
リ街衢ハ海岸ニ沿テ南北ニ連貫シ市街街衢ノ余地アリ加フルニ海
岸地立地ノ功績等ニヨリ經濟著シク市街地域ノ擴張見ルニ至レリ

二、氣候風土

本町ハ北緯四十七度ノ地點ニ在リテ寒威酷烈ナル如ク想像セラル
、本島中央部ヲ南北ニ縱スル春連山脈ニ寒冷ナル北東風ヲ遮斷ス
ルトハ、陸地海峽ノ一部ヲ遮リ暖流ノ影響ニ因リ暑カラズ氣温平緩和
シ本島中最高温ナル地方ニ屬ス領有以來大正十五年ニ至ル最良平均氣温
ハ攝氏〇、二度最高平均氣温攝氏七度五大正十五年中平均温度三度八二
シテ冬季中ト雖モ海水ノ氷結スルコト殆トナク本島市街中最高温ノ地ナ
レハ風ニ掃太唯一ノ不凍港トシテ著聞ス故ニ當港ハ嚴寒ノ候ト雖モ特殊
ナル群衆安置ナキ船舶ノ出入亦自由ニシテ北海岸内地諸港ト間ニ定期
船ノ往來ヲ絶タズ

三、戸口

本町ハ眞岡市街地ノ外荒貝、余子舞、宇遠泊、智忠内、經舞、深、本泊
手井、寶登ノ八部落ヲ包含シ大正十二年戶籍法施行以來轉着年々多
キヲ加ヘ昭和二年末現在戶數三千三十四戶人口一万三千九百五十八人
ニシテ其ノ内男女ノ如シ

本	男	女	計
本	一、一七九	一、一五八	二、三三七
籍	六、五三九	五、〇八二	一一、六二二
計	七、七一八	六、二四〇	一三、九五八

四、漁業

樺太ハ初メ漁業ヲ以テ拓ク領土ハ本島三大魚類トシテ世界ニ冠タリ殊
ニ西海岸ハ鱈及鱒ノ魚類豊富ニシテ沿岸一帶ハ早クヨリ開ク眞岡港ハ其
ノ中心市街ニシテ産物此地ニ集リ商業頗ル盛ナリ

五、林業

眞岡町ハ森林地帯ニアラサテ以テ何種ノ木材ノ産出セラル、モノナシト
雖モ眞岡支庁管内ハ全島有量ノ材積ヲ藏シ其ノ伐採量一年二百五方石
ニシテ全島材積ノ四分一ノ占メ尙ホ斗及沿岸支庁管内ノ材積ヲ
合ストキハ四百二十方石全島材積ノ四割以上ニシテ是等ハ一部附製
製材工場原料トナリ一部ハ樺太工業株式會社及王子製紙株式會社ノ製
紙原料トナルノ外悉ク丸太トシテ内地ニ移出セラル、モノニシテ積取
船ニヨリ搬出セラル、モノナリ、而シテ是方伐採ニ從事スル樺夫ハ數千名
ニ達シ該事業ニ要スル物資ハ殆ト眞岡町ヨリ供給セラル、ノ實況ナルヲ
以テ眞岡町ハ事實ニ於テ經濟的ニ西海岸支庁支配ノ地位ニ至リ

六、鑛業

本島ニ於テ鑛業ハ主トシテ石炭ニシテ其他石油及金銀鑛石ノ埋藏セラル
、モノ多量ナリト雖モ未ダ掘工見ス石炭ノ如キモ大部分ハ國策
上封鎖セラレテ起業不可加ナルヲ以テ目下掘鑛セラル、モノ僅ニ小部分ニ
過キ昭和元年ノ生産高二十七萬噸ニシテ島内一年ノ消費量三十
七萬五千噸噸ヲ以テ約十萬噸ノ外外ヨリ移入又ハ輸入セラル、ノ實況
ナリ鑛業ハ目下直接開トハ交渉比較的尙モ漸次機關開ク發達ヲ促
シ起業擴張ニ伴ヒ經濟的ニ密接ノ關係ヲ結ビ同工ノ發達ヲ見ルコト亦
多ク要セス

七、農

本島農産物ハ米及果實類ヲ除ク外ハ大成育長好シテ麥類豆類馬鈴
薯等ハ最も品質優美ナリ一ヶ年ノ生産額七十三萬圓ニシテ本島管内三十六
萬圓沼居管内二十七萬圓ニシテ悉ク島内ニ消費セラル、ト雖モ尙不足ニ
シテ輸入品多量ナリ本島ノ農業ハ元來有量ニシテ北海道ニ劣ル所ナシト
雖モ從來樺太ノ農業ハ開拓セラル、モノ僅ニシテモアラス之レヲ助成ス
ルニ於テハ麥類豆類ノ自給自足ハ勿論農産製造工業及漁業ノ發
展ニハヘキモノアルヘシ全島一ヶ年生産額二百六十萬圓ナリ

八、製造工業

イ、製紙 資本金二千圓ノ樺太工業株式會社經營ニ係ル工場ニシテ社
長ハ大川三郎氏ナリ一ヶ年ノ生産額四千萬圓ニシテ原料木材一ヶ年
ノ消費四十五方石ナリ
ロ、罐詰工場 釀造工場ノ原料類ハ沿岸各地ヨリ供給スルモノニシ
テ本島野田沼其他數ヶ所ニ工場アリテ其製品ハ悉ク眞岡ニ集中サ
レ主トシテ罐頭ニ移出セラル、モノナリ其他製菓ニ於テ罐詰ノ生産ア
リ
ハ、釀造業 清酒釀造ハ眞岡町十野田町二野田町ニシテ眞岡酒造組合組
織アリ一ヶ年釀造石數一萬石ニシテ悉ク島内ニ消費セラル、モノナリ
味噌醬油 釀造ハ町内四戸ニシテ其ノ製造高ハ醬油八萬石味噌二萬石
ナリ
ニ、清涼飲料水 製造工場町内二ヶ所ニシテ、ラムネ、サイダー、シト

九、金融機關

モリス等ノ種類ニシテ年産六千兩ナリ
ハ、製鐵業 樺太製鐵株式會社經營ニシテ手井ニ在リ資本金三十
萬圓ナリ工場ハ朝鮮方面ノ最モ進歩セリ式ヲ採用シ蓋蓋六枚ヲ
備付テ一日製鐵力八千斤入三百噸ナリ年産一萬五千噸
金鐵機關トシテ株式會社北海道銀行支店及株式會社樺太銀行支店ノ
二ヶ所ニシテ野田沼原水本等ニモ支店或ハ出張所ノ設備アリ商工業
上唯一金鐵機關トシテ活躍シテアリ貸出金額四百萬圓ナリ

一〇、交通機關

交通機關ニ就テハ島内及島外トノ二ツニ別ケル便利トス
イ、島外トノ交通ハ專ラ小樽ニヨリ便利トス定期航路トシテ選信會令
定期船二隻ハ一ヶ月各三回計六回トス樺太廳會令定期船トシテハ北日
本汽船株式會社ノ京城丸及東北丸ハ毎月一回小樽眞岡間ヲ直行スルモ
ノ外ニ近海郵船會社ノ竹島丸ハ毎月三回眞岡間ヲ直行シ其他社
外船ノ不定期航路ハ毎日ノ如ク航路ス

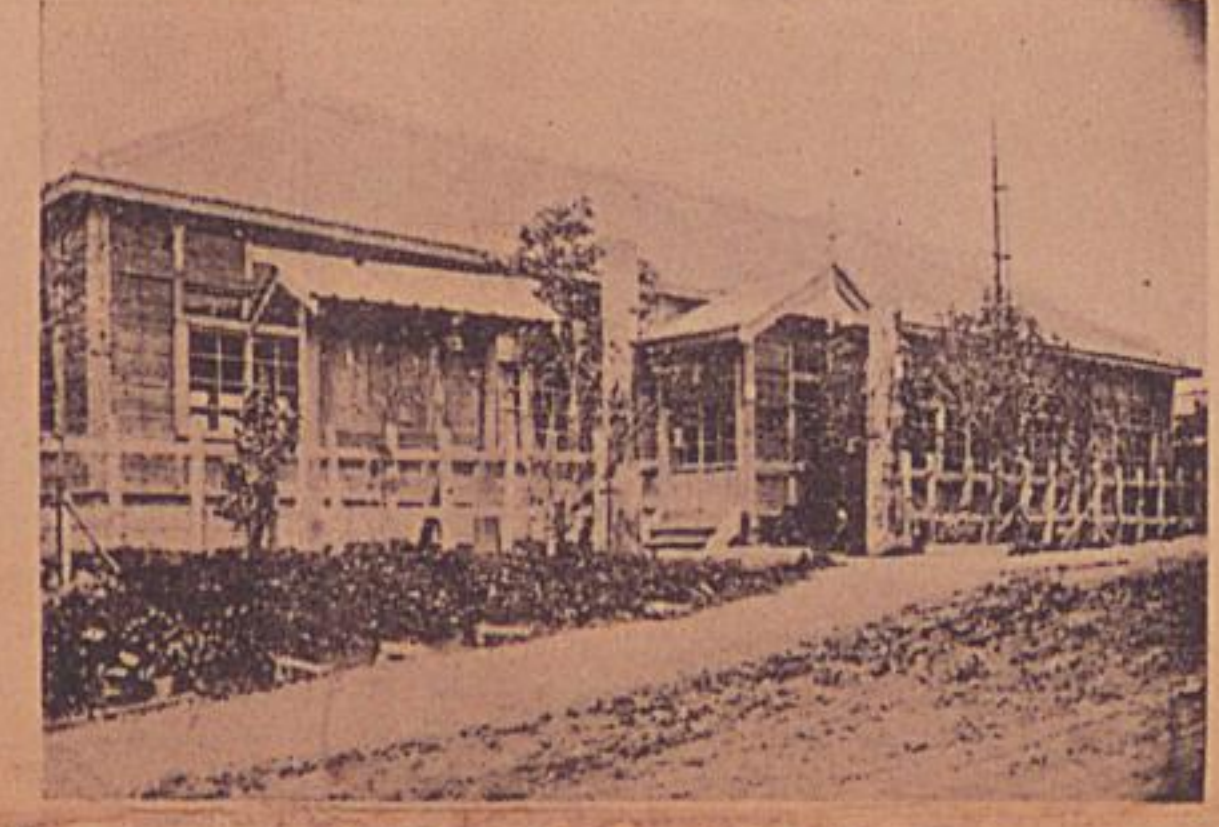


眞岡市街全景

ロ、島内交通ハ鐵道野田本町間六十哩アリ外ニ眞岡豊原間四十八哩ハ大
正十年起工シ一昨年ヨリ一部開通シ本年九月全通ナル豫定ナリ
ハ、野田久春間四十六哩ハ大正十四年十一月起工シ一部ハ線路ノ設置
クテシマノ本報開通ノ時ハ沿岸各部落ノ開發ニ寄與スル所大ナルヘシ
鐵道ハ大正十一年ヨリ二百五十方圓ヲ以テ開業式ニ築設シ面積一萬
二千坪深サ十八尺ニシテ將來二十尺ニ擴張スルノ計畫アリ大正十五年
八月深水昭和二年完成ス千三百噸級ノ汽船ハ後ニ増設ニ構付ケスル
コトヲ尙尙引續キ第二期工事トシテ助波港ノ延長海岸ノ埋立及七洲
内碼頭等ハ町ニ於テ調査計劃セラレアリ早晩實現ヲ見ルニ至ルヘシ

一一、教育

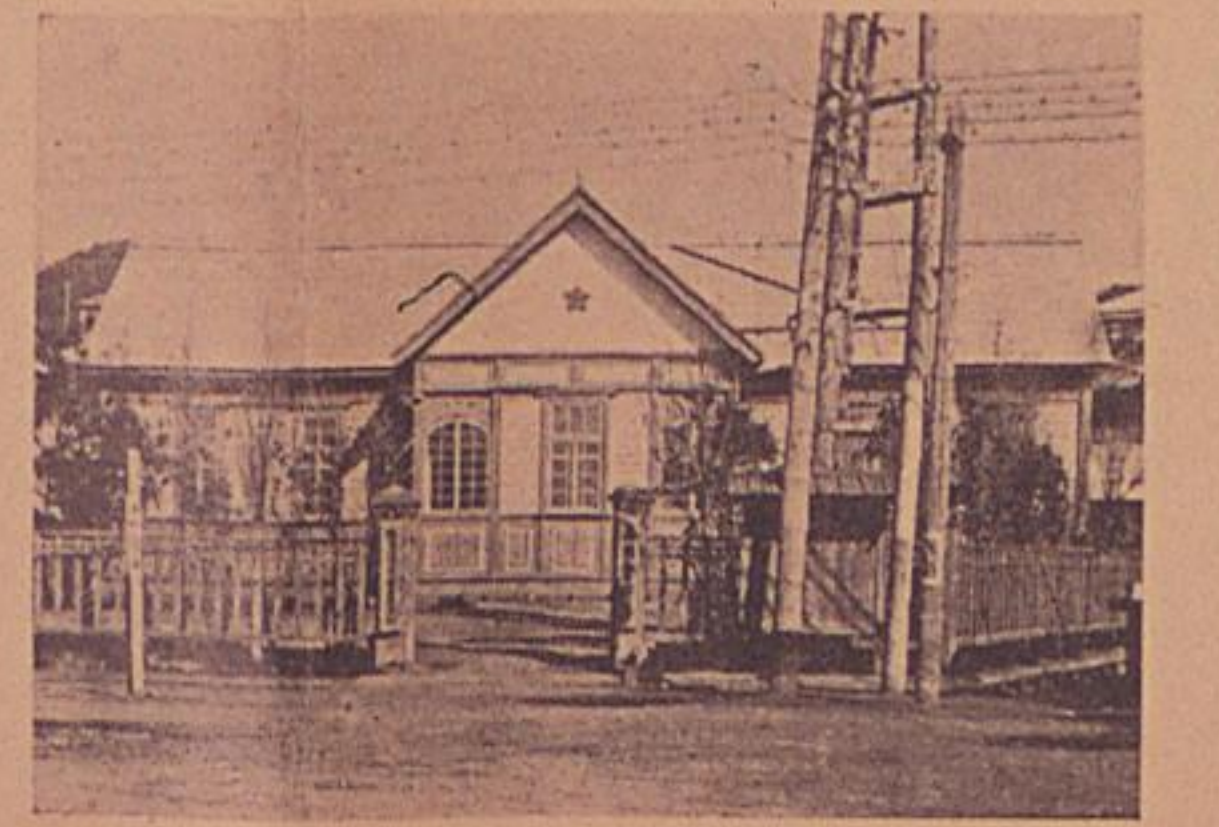
教育機關トシテ小學校三、分教場一ノ施設アル外眞岡立山學校、公立高等
女學校、私立眞岡女學校、青年團練所等ノ設ケアリ普通教育上ノ施設ニ
於テハ何等遺憾ノ點ナシ



眞岡支庁



眞岡町役所・商會事務所



眞岡警察署及郵便局



眞岡市街圖

凡例

モヒエシムニユキサアエコフケマヤクオノウムラナネツンレタカワヲルミヲトヘホニハロイ

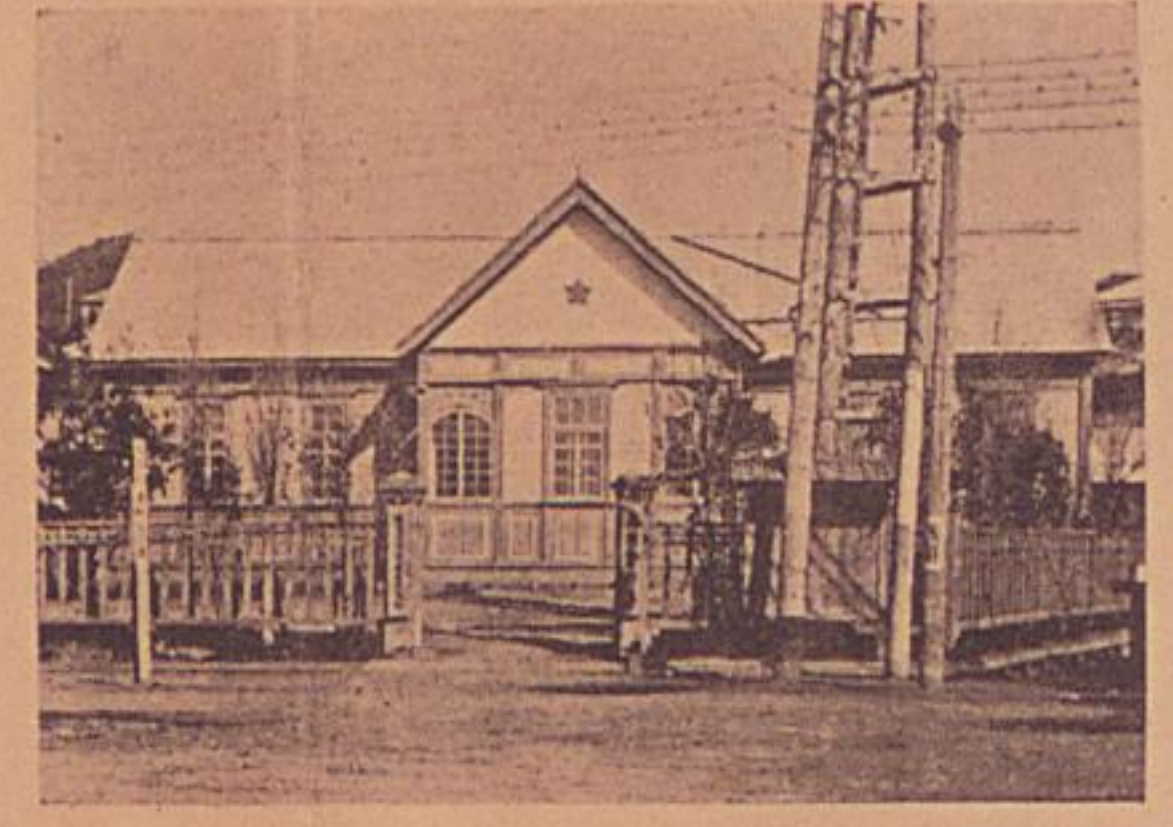
Scale 1/3,000,000



臨文岡眞



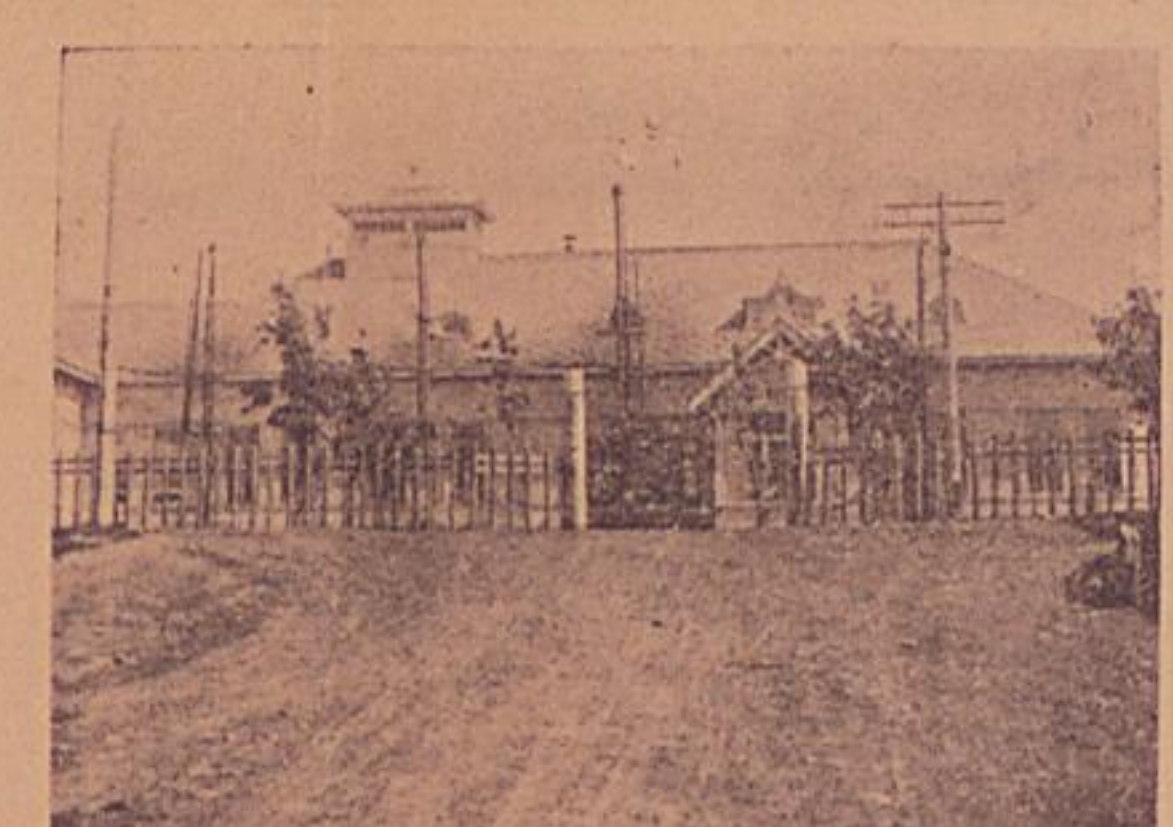
所議會工商岡眞・場役町岡眞



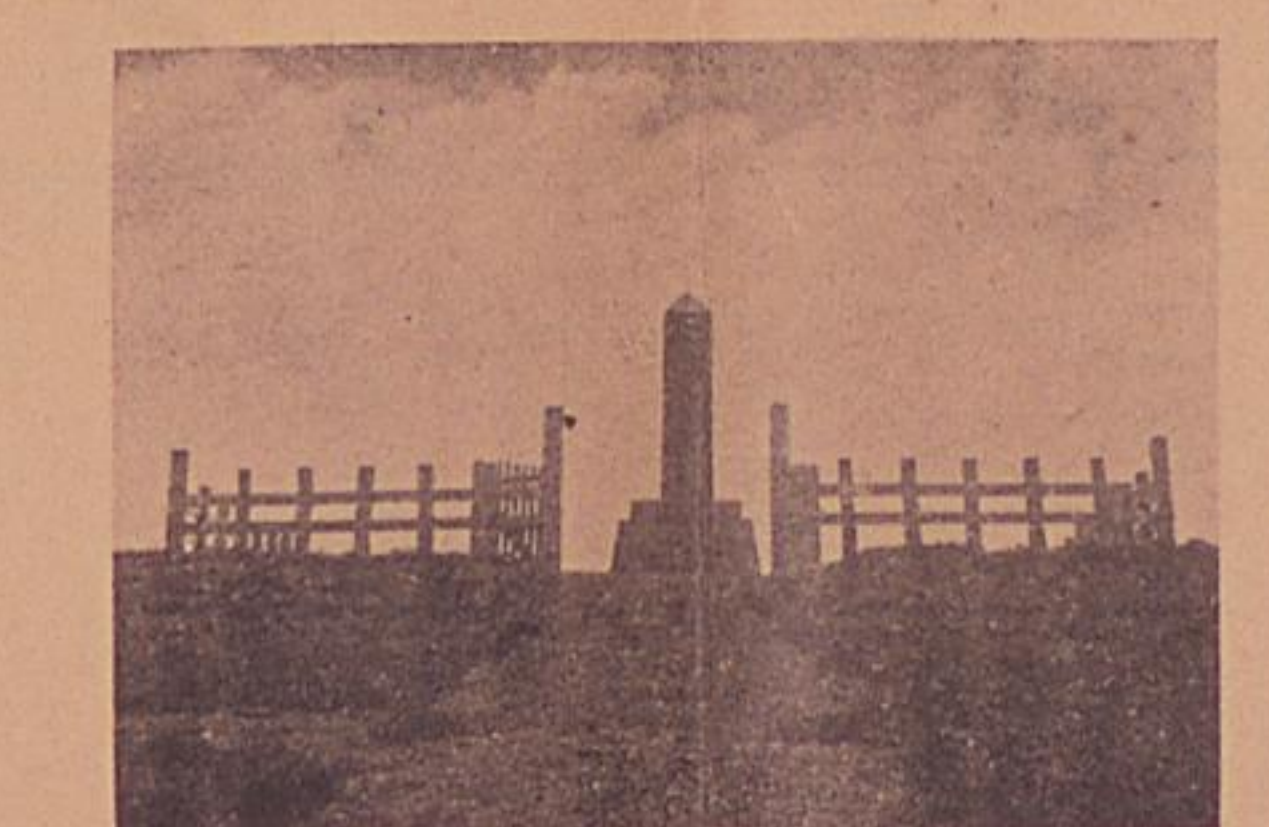
局便郵及署察警岡眞



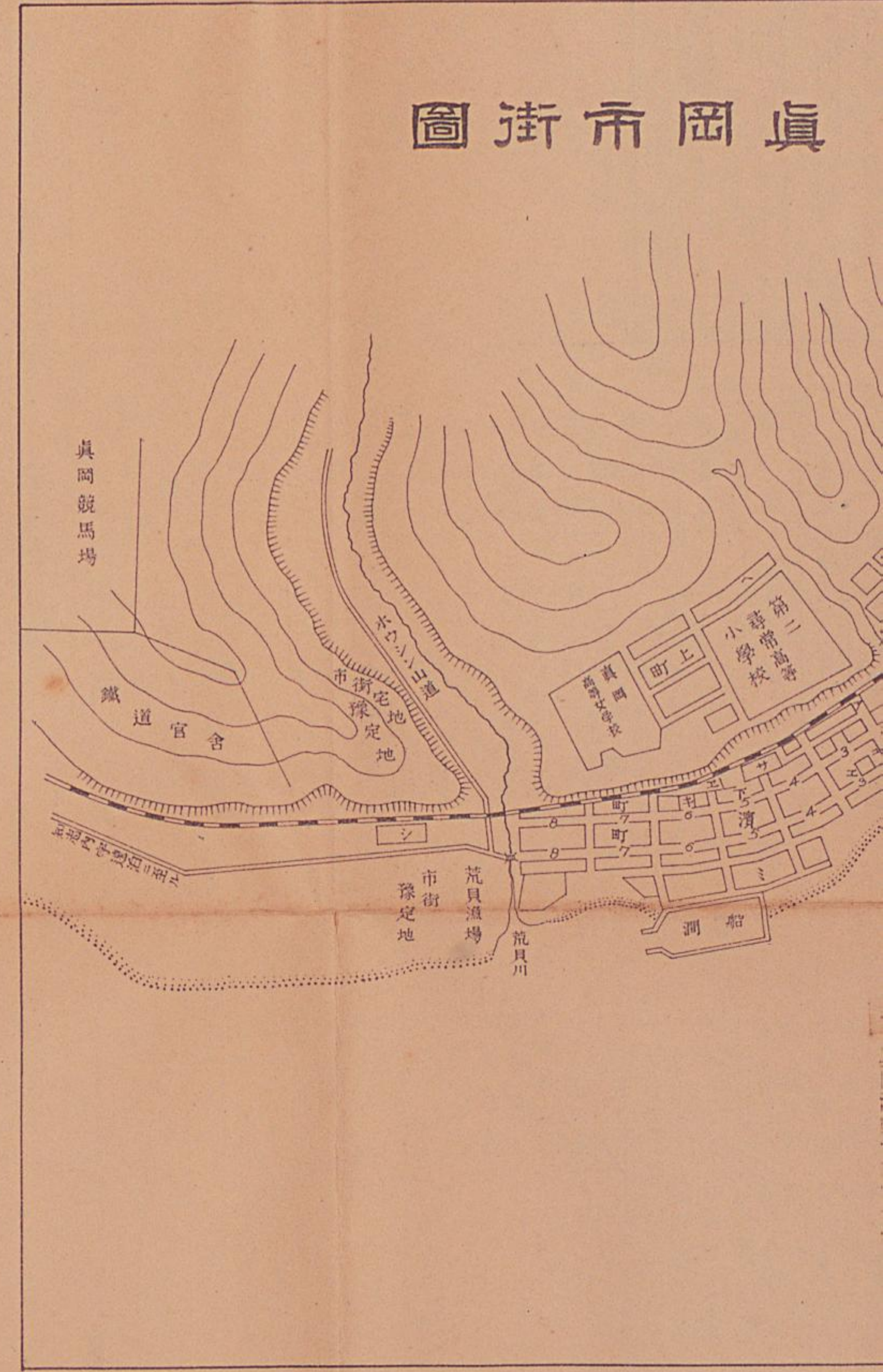
局便郵岡眞



院醫岡眞立臨大博

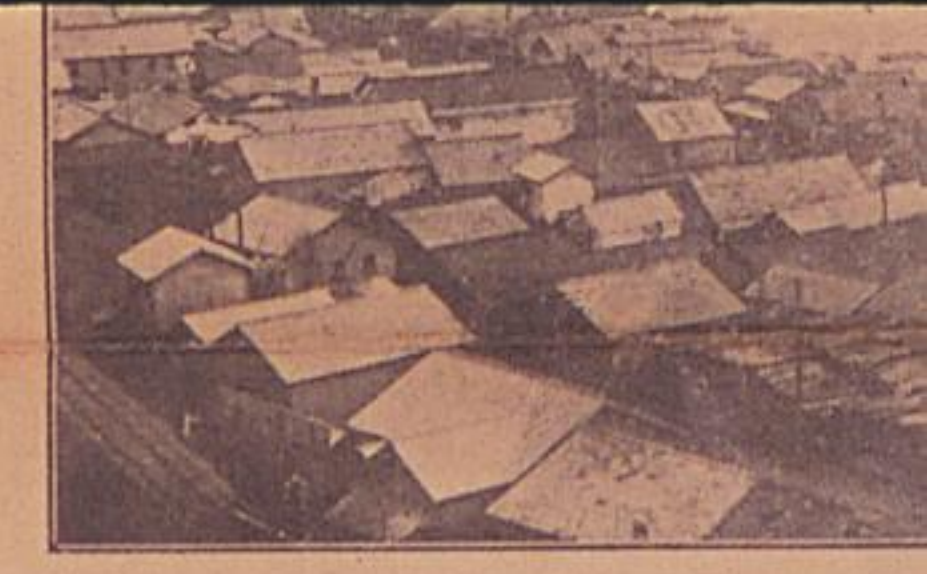


所望展仰



六十哩アリ外ニ眞岡市原周四十八哩ハ大
開通シ本年九月全通ヲミル豫定アリ
正十四年十一月起工シ一部ハ鐵路ノ設置
ヲ各部ノ開發ニ寄與スル所ナラシムヘシ
十方圓ヲ過リ海濱集積式ニ築設シ面積一萬
二千尺ニ擬シスルヲ計畫アリ大正十五年
三百噸級ノ汽船ハ民ニ岸壁ニ積付ケスル
事トシテ防波堤ノ延長海岸ノ理立及ヒ調
サレアリ早晩實現ヲ見ルニ至ルヘシ

場一ノ施設アル外眞岡立中學校・公立高等
訓練所等ノ設ケテ普通教育上ノ施設ニ



眞岡市街圖

昭和三年七月調製



株式會社 烟木商店



大橋德太郎商店
本町二丁目

眞 權 太 眞 岡
岡 商 工 會 會

戶口		職業別戶口		職業名		農		畜		物貨要		入出移		政財		金		公官		社		防警		工所議		者職公員吏町		融	
總計
...

要		和		二		年	
人口平均	人口	人口	人口	人口	人口	人口	人口
...
教育		農		水		工	
小学校児童及學級數
...
重要貨物		移出		移入		政	
...
官公署		社		寺		團體	
...
融		商會		防		工	
...

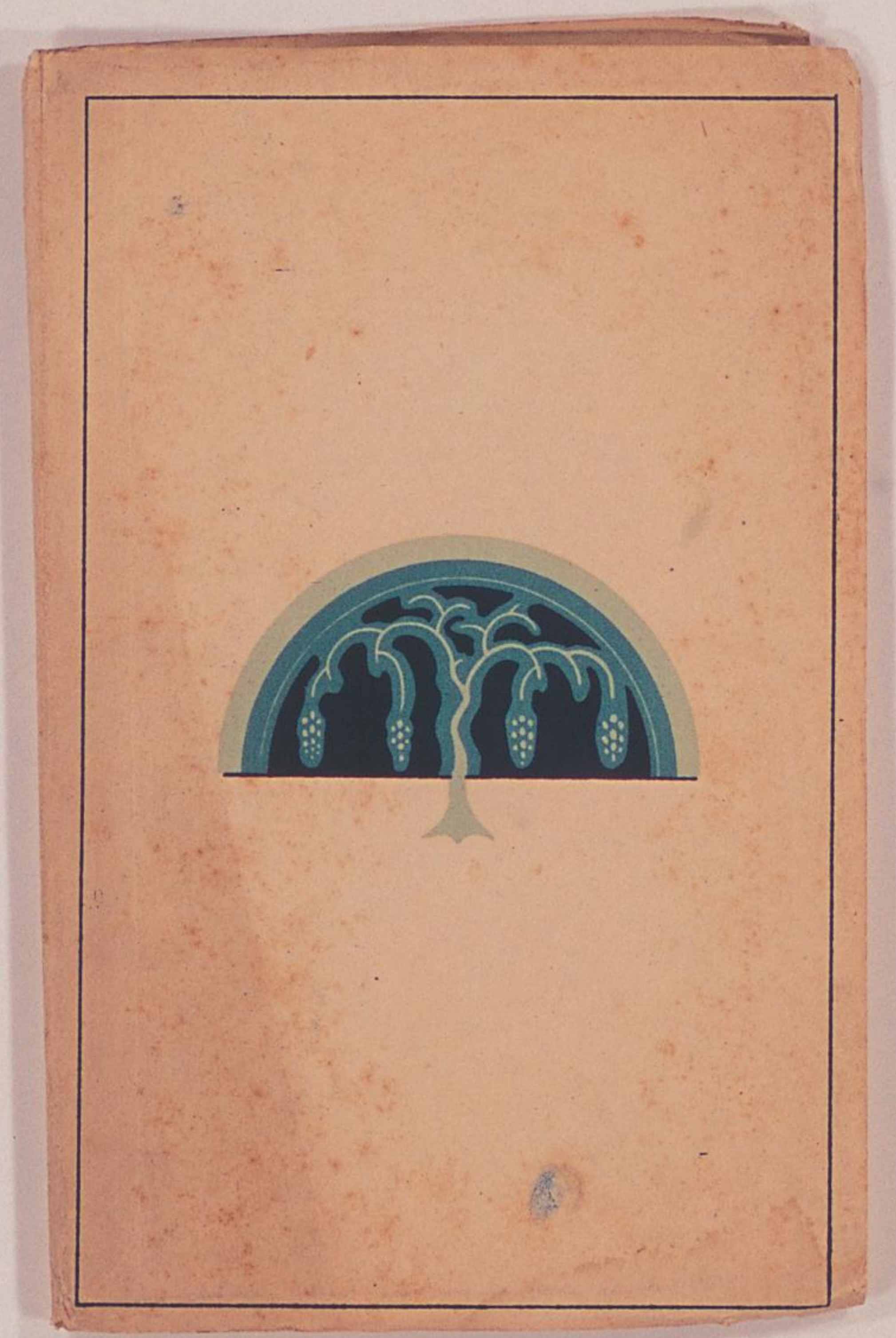
北海道拓殖銀行同支店
本町一丁目



小森合名會社同支店
本町二丁目



樺太工業株式會社同工場



E N D

REEL No. B-010

琉球大学